

令和7年度 農山漁村振興交付金(都市農業機能発揮対策)
事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和7年度に実施された「農山漁村振興交付金(都市農業機能発揮対策)」の事業について、「農山漁村振興交付金(都市農業機能発揮対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2293号)第15の3の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和7年度を目標年度とする交付金実施8地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。
その結果、優良と認められる地区が3地区、低調と認められる地区が5地区との評価結果となった。
目標の達成状況が低調と認められる地区に対しては、重点的な指導・助言等を行う。

3. 各地区の評価結果
8件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
本省	愛知県	日進市	日進畑の交流拠点づくり協議会	／	／	／	／	●	●	■ ▼	△	C	計画に基づく活動はおおむね実施されているが、計画に定めた目標の達成率が低いことから、総合的評価をCとした。 都市住民に対し、有機野菜の栽培体験会及び摘み取り農園で野菜の収穫イベントを実施したことにより、都市農業への理解醸成が一定程度進んだと思われる。 今後、事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施されるとともに、適宜取組内容の見直しも行いながら、事業が一層発展することを期待したい。
本省	福島県	郡山市	一般社団法人食大学	／	／	／	／	●	●	■	／	C	実施体制が整備されており、目標もおおむね達成されているが、マルシェ開催事業の実施率が低いため、総合的評価をCとした。 マルシェの実施率は低いものの、平均来場者数は目標を上回っており、農家と都市住民との交流の機会が創出され、都市農業への理解醸成は一定程度進んだと思われる。 今後、事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施されるとともに、目標の達成を図りながら、事業が一層発展することを期待したい。
本省	愛知県	知立市	特定非営利活動法人かきつ畑	／	／	／	／	● ▼	● ▲	■ ▼	△	C	実施体制が整備されており、目標も半数以上が達成されているが、主要な取組みの実施率が低かったことから、総合的評価をCとした。 農業者と都市住民の交流の機会は創出したが、天候が悪かったことや、ゴミやクスノキの葉の混入により落葉や雑草の受入量が減少し、落ち葉等を活用した堆肥化事業の実施が予定していた数に達しなかったことから、当初の目標が達成できなかった。 今後、落葉等の回収場所や時期を工夫することにより、落葉等の回収と堆肥の活用が進むことも含め、事業が一層発展することを期待したい。

本省	大阪府	和泉市	株式会社エムスクエア・ラボ					●	●	■	△	C	実施体制は整備されているが、事業の実施率が低く、目標が達成されていない項目もいくつかあったため、総合的評価をCとした。 和泉ジュニアビレッジの実施により、小中学生が都市農業者や農業と接点をもつ機会を創出し、さらに商品開発や商品販売を体験してもらうことによって、農村ファンの拡大と都市農業への理解醸成が一定程度進んだと思われる。 今後、事業計画に基づく取組について、状況に応じた内容の変更も検討しながら、事業の発展に向けて取り組んでもらいたい。
本省	東京都	江東区	農と親しみ江東区の共生社会を考える協議会					●	●	■		A	計画に基づく活動が実施され、計画に定めた目標を全て達成しており、実施体制が整備されていることから、総合的評価をAとした。 都市中心部に農的空間を創出したことにより、都市住民の都市農業への理解醸成が進んだと思われる。 今後も事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施され、事業が発展することを期待したい。
本省	東京都	日野市	株式会社ネイバーズファーム					●	●	■		A	計画に基づく活動が十分に実施され、計画に定めた目標を全て達成しており、実施体制も整備されていることから、総合的評価をAとした。 マルシェ等のイベントの実施により、都市農業者と都市住民の交流の機会創出を行い、地域産品のPRや都市農業者と消費者である都市住民の交流が実現したと思われる。 今後も事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施され、事業が発展することを期待したい。
本省	大阪府	泉南市	一般社団法人グリーンカラー					●	●	■		C	実施体制が整備されており、目標もおおむね達成されているが、扇町公園マルシェの開催以外の活動の実施率が低いため、総合的評価をCとした。 天候の影響により取組内容は低調であったものの、都市公園にてマルシェを開催することにより、都市住民の都市農業や有機農業等への理解醸成は一定程度進んだと思われる。 今後、天候の影響を受けにくい取組内容を検討することなどにより、事業が一層発展することを期待したい。
本省	愛媛県	松山市 今治市	「生産緑地制度」に関する 共同研究会					●	●	■		A	計画に基づく活動がおおむね実施され、計画に定めた目標を全て達成しており、実施体制も整備されていることから、総合的評価をAとした。 愛媛県松山市・今治市を中心に、生産緑地制度導入に向け管内の農業者に対し制度の説明会等を実施するとともに、行政(松山市)とも連携し、県内初の生産緑地制度の導入を支援するなど、都市農業の振興や都市農地保全が進んだと思われる。 今後も事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施され、事業が発展することを期待したい。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)
ハード対策 ☆…交付対象年度(計画) ★…交付対象年度(実施済) ◇…目標年度(計画) ◆…目標年度(実施済)
重点指導 ▼…重点指導(通知) △…重点指導(結果報告予定) ▲…重点指導(結果報告)

(注2)「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調 評価対象外…評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

「農山漁村振興交付金(都市農業機能発揮対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2293号)第15の4の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:大江靖雄(東京農業大学客員教授)

委員:市田知子(明治大学教授)、加藤由紀子(北海商科大学非常勤講師)、木村宏(北海道大学客員教授)、森久美子(作家・拓殖大学北海道短期大学客員教授)

【令和8年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会
1 日 時 :令和8年8月5日(水) 13:30～16:40 2 場 所 :農林水産省農村振興局第5会議室 3 出席委員 : 大江委員長、市田委員、加藤委員、木村委員、森委員 4 議事概要 ① 令和8年度評価対象地区の評価方法について 本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。 ② 令和8年度評価対象地区の評価及び取組状況について 令和7年度を目標年度とする8地区の取組概要、評価案に関して説明し、質疑応答を行った。 5 主な意見 マルシェを成功させるためのノウハウを集約して、農林水産省がガイドラインを作成するべきではないか。
第2回評価委員会
1 日 時 :令和8年8月18日(火) 10:00～11:00 2 場 所 :オンライン開催 3 出席委員 : 大江委員長、加藤委員、木村委員、森委員 4 議事概要 ① 第1回評価委員会における質問への回答及び評価結果案 ② 令和8年度事業評価における重点指導地域等への現地指導 5 主な意見 なし